

申5号

Part②

2023年3ダイヤ改正検証に基づく申し入れ

秋田運輸区

1. ECDC組のリゾートしらかみ号が入っている行路はDC免許保持者に勤務変更されており、交番どおり乗務できていない実態があるため、リゾートしらかみ号については臨時行路とすること。

回答：秋田運輸区のEC・DC組は現行通りとする。

【会社】基本的にくまげらは3・6号が基本。B133・134は変番せず、交番どおり乗れるように現場と調整する。異常時は異常時の考え方で対応するしかない。

【組合】交番どおり乗務できないことは課題である。
・B133・134が男鹿線と変更になり、新規見習いが男鹿線に乗れない。交番の人が予備で、予備組の人がB133か134乗務するという逆転現象が起きている。リゾートしらかみ号は臨時にするべきという声が多い。

【会社】ダイヤ改正PTなどの意見も聞いていく。

3. 1124Mは二田駅で1125Mと交換となるが、場内信号機が警戒となり遅れが発生するため天王～二田間の運転時分を4分とすること。

回答：現行通りとする。

【組合】1124Mに警戒信号が現示されるため、運転時分が3分となっているが、実際には4分かかる。その関係で1125Mの発車が遅れる。

【会社】指令にも見に行ったが、遅れていないという認識。設定上問題はない。制御上の問題。

【組合】進行での設定になっているのか。

【会社】進行の設定になっている。遅れたら日報で報告していただきたい。

追分で接続があるため、指令には接続注意と周知していく。

【組合】ダイヤ改正は労働条件が変わる最も大きな施策である。出された意見を把握した上で、次期ダイヤ改正に向けて検討していただきたい。

【会社】ダイヤ改正はいちばん大事な商品。今回の議論や、職場の声をPTなどで把握し、できること・できないことを踏まえ少しでも解決するよう進めていく。

2. 6009M、6040Mは4月から毎日運転されているため定期列車とすること。

回答：お客さまのご利用状況を踏まえ列車設定しているところである。

【組合】4月以降毎日運転している。6009M・6040Mの輸送力が必要だから走らせているのか。

【会社】そうだ。運行本部と乗車人員の把握を行っている。次期改正でそういった声を踏まえて調整していく。

【組合】B12行路の出勤時間が約2時間早くなっている。変行路ではあるが、在宅休養時間を割ってしまっている。

【会社】基本の交番を作る考え方であり、臨時行路などでは該当しない。

【組合】変行路とはいえ毎回だと不満が積もる。

4. 前潟駅の乗降により、こまち号に遅れが発生することが多いため次期ダイヤ改正で解消に向けて検討すること。

回答：お客さまのご利用状況を踏まえ列車設定していくこととなる。

【組合】6009Mの盛岡発車場面、832Mが1分でも遅れると出発信号機が注意現示となる。2分以上となると次の出発信号機が停止現示となり機外停車となる。ダイヤ上変更出来ないか。

【会社】832Mから盛岡の接続もあり変更することはできない。

・前潟駅の乗降については、新駅のためお客さまが不慣れということもある。盛岡支社とも協力してゴールデンウィーク前に乗車指導などを行った。

・前潟駅の遅れは最小限にしようとしている。

輸送サービスを低下させず、お客さまにとって利用しやすい鉄道を目指そう！

検証を積み重ね、安全で安心な

鉄道を東労組からつくっていこう！